



- a.c システムキッチンを改造した下川町産トドマツのキッチンと洗面台。
- b 深夜電力の温水を利用した蓄熱床暖房は、コルクタイルで柔らかな足触りに仕上がっている。
- d 青森ヒバの心地良い香りのシャワーを浴びる、ちょびり贅沢な木のお風呂。
- e 北海道の木を大胆に使った木組みの家は、自然塗料のアンティーク仕上げでまとめられている。
- f 2階はワンフロアで家族の成長や用途によって仕切って使うことも可能。

「伏古の家」モデルハウス

札幌市東区伏古4条5丁目-3
公開/4月末まで毎週土日、11:00~16:00

有限会社 ビオプラス西條デザイン

本社:〒002-8081 札幌市北区百合が原4丁目8-1
Tel.011-774-8599 Fax.011-774-8581
伊達支店:〒052-0014 伊達市舟岡町50-28
Tel.0142-22-0138 Fax.0142-22-0139

©「Natural Lifestyle えこすた」連載中(P36~P39)

資料請求番号 09

くわしい企業情報は「北海道ビルダーINDEX」をご覧ください。

ほかに、地域の新聞古紙を再生利用したセルロースファイバーの充填断熱材と、廃木材や樹皮で作った断熱ボードを外側に張り込んだ160mmの断熱層が、北海道らしい暖かな家を実現している。

木でできるものだけでなく木でつくる。それも北海道の木、近くの山の木でつくる。そんな作り手の強いメッセージが詰まった北海道の木の家が誕生した。



北海道産のスキを張り込んだ外壁は総木板貼り仕上げ。



モデルハウス「伏古の家」
工法/在来工法
標準工期/120日
プラン/フリープラン

Photo:GINO PHOTO WORKS

北海道の木の家

夫婦二人と愛犬が暮すコンパクトな住まいをイメージして建てられた25坪の2階建て。ロフト仕様のこの住宅は、これからの「小さく賢く住む」住まいづくりのお手本といえる。

北海道の木にこだわり、産地の分かる無垢の木だけを選んで使用。この家に使われている木材のうち、実に99.7%が北海道産木材だ。残りの0.3%は、防腐性が高く良い香りがする青森産のヒバの木が浴室に使われている。

外装の板貼り仕上げは、すべて道南木古内産の杉材をラフに加工したものを、ツートンの塗装仕上げでデザイン。厚沢部産のクリ土台、道東産の6寸角の大黒柱と太いトドマツの梁を支える木組みの家は、合板を一切使用しない無垢の木の家だ。積丹の山育ちの年輪がギョツと詰まったカラマツ製の断熱玄関ドア、LOWEトリプルガラスの木製窓と、玄関ドアと窓にも北海道の木が使われている。

厚さ30mmのカラマツ板1枚だけで1階の天井と2階の床板を兼用する踏み天井は、木組みの良さを生かしながらローコストを実現している。

システムキッチンやシステム洗面台の面材をトドマツの剥ぎ板に取り替え、無垢材を框組みした室内建具など、全体の木質感を統一することにも十分配慮した。木材の使用量は一般的な木造住宅の2倍以上もありながら、珪藻土やホタテ漆喰、和紙や織物クロス、コルクタイルなどの自然素材とのコーディネートで、飽きのこないプレーンなデザインでまとめられている。